

さくらんぼ結実確保緊急支援事業 要望調査 各種様式 記載要領

○共通事項

- ・実施地区は、2以上の市町村にわたることが可能です。広域農協や市場の生産組合で、同一市町村内で団体を組織できない場合（生産者が1～2名、認定農業者は2戸で団体を組織できる）、他の市町村で組織する団体の一員としてください。
- ・実施地区が2以上の市町村にわたる場合、要望調査票及び補助金計算書は、市町村ごとに作成し、すべての市町村に提出してください。

（例）「実施主体：やまがたさくらんぼ部会（山形市12名、園芸町1名）」の場合

- ・要望調査票：山形市提出分、園芸町提出分を作成（詳細は下記参照）
- ・取組主体計画一覧：取組主体である13名の一覧を作成し、同じものを山形市と園芸町に提出
- ・補助金額計算書：山形市12名、園芸町1名の計算書をそれぞれ作成し、各市町にそれぞれを提出

★リースミツバチを生産組合等で一括して導入し、生産者単位での導入計画（取組主体計画）が作れない場合等について

取組主体を個々の生産者ではなく、支部・支所・地区等の単位にする対応が可能です

（例）実施主体：松波農協さくらんぼ部会

取組主体：第1支部、第2支部、第3支部…、第8支部

※農協等で、取組主体にあたる生産者が百名を超えるなど、取組主体一覧の作成が困難な場合もこの対応が可能です。判断が難しい際は、園芸大国推進課までお問い合わせください。

【要望調査票（様式1）】

1 事業実施主体概要

- ・実施地区が2以上の市町村にわたる場合には、市町村ごとに代表者を立ててください。

（例）「実施主体：やまがたさくらんぼ部会（山形市12名、園芸町1名）」の場合、山形市代表者1名、園芸町代表者1名が必要。

2 所属組合

- ・実施主体が所属する組合の有無や詳細について記載してください。

3 成果目標

- ・実施主体の目標としてください。

（例）「実施主体：やまがたさくらんぼ部会（山形市12名、園芸町1名）」の場合、いずれの市町に提出する書類にも13名全体の目標を記入。

- ・現状年度（令和7年度）に対して、目標年度（令和8年度）の実施主体全体の総販売額が増加している必要があることにご留意ください。

4 事業計画

- ・実施地区が2以上の市町村にわたる場合には、市町村ごとに補助金計算書を作成し、提出先となる市町村別に計画内容を記入してください。
(例)「実施主体：やまがたさくらんぼ部会（山形市 12 名、園芸町 1 名）」の場合、山形市提出分には 12 名の計画内容、園芸町提出分には 1 名の計画内容を記入。
- ・「市町村補助率」については、デフォルトでは 1/6 となっています。1/6 以外の補助率を設定する場合には、市町村においてその補助率を記載してください。
- ・「生産者団体・市場補助率」については、デフォルトでは 1/12 となっています。1/12 以外の補助率を設定する場合には、各団体・市場においてその補助率を記載してください。

【取組主体計画一覧（様式2）】

- ・「さくらんぼの栽培面積」は、当該取組主体が経営するすべての園地について記入してください。
- ・成果目標とする「総販売額」は、上記で記入したすべての園地に係るものとしてください。
- ・「10a 当たりの販売額」及び「総販売額」欄のいずれも記入してください。

【補助金額計算書】

- ・実施地区が2以上の市町村にわたる場合、提出先の市町村ごとに作成してください。
- ・「白地のセル」及び欄外の「補助率（市町村要入力、団体・市場要入力と記載している箇所）」を入力してください。灰色セルは記入内容から自動で算出されます。
- ・補助対象者課税区分は、プルダウン形式となっています。必ず選択してください。